学位被授与者氏名	乾　美由紀（いぬい　みゆき）
論文題目	看護師の経験年数がレジリエンス特性と回復力に及ぼす影響　―教育支援プログラムへの示唆―
論文審査結果の要旨	これまでの看護学や心理学におけるレジリエンス研究では、既存の定義と指標が疑問をもたれることなく使用されてきたが、本研究はそれらの妥当性を改めて検討するものである。示された結果は予想と大きく異なっており、これまで苦難からの回復の力になると考えられてきたレジリエンス特性の多くは、今回の看護師が体験した苦難の回復には影響していなかった。このことは、今後のレジリエンス研究における指標の使用について見直しを迫る重要な意味を持っている。また、苦難の内容によって回復の機制が異なる可能性や、回復の状態にも複数の様相がある可能性も示唆する興味深い結果を提供している。ただし、本研究でまとまった結論が導かれたわけではなく、今後の研究の足掛かりになるものと位置づけられる。 内外の先行研究が豊富に渉猟されており、よく整理された研究史はくわしく丁寧に書かれている。調査は全国の対象者に広く実施されており、データは適切な分析方法が用いられ、必要な考察が簡潔にまとめられている。全体として修士論文として十分であると認めることができる。 2025 年 2 月 13 日に、北九州市立大学北方キャンパス本館 4-301 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(人間関係学)として十分な内容であると判定した。